# ６　年度　幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

| 作成日 | 令和7年1月25日 |
|---|---|
| 法人名 | 園　名 |
| 学校法人織田学園 | おだ認定こども園 |

## まとめ　　全体平均　3.82

| | |
|---|---|
| **第2章第2節**<br>乳児期の園児の保育 | 一人ひとりの園児とのアタッチメントの形成を念頭におき、丁寧な関わりを行ってきた。そのことによって、園児との信頼関係が出来、安定したリズムで生活を進めることが出来た。一方で子ども達がハイハイや歩行が始まったころに適当な環境設定が少なかったことは、園児の自発的な行動を促す点で不十分であったと言える。子どもが「やりたい」「うごきたい」「あるきたい」の気持ちは興味を広げるうえでも大事な一歩であることから、乳児期から育むことが重要とされている非認知能力を育てる視点からも、改善していきたい。 |
| **第2章第3節**<br>満1歳以上満3歳未満の園児の保育 | クラスの園児一人ひとりの発達を理解し愛着関係の形成に努めているが、遊びや体験を促すための環境作りや戸外で自然物に触れる機会は少なかった。戸外やテラスに出る機会が十分に確保できなかった原因を明確にし、次年度はどのようにしたら改善るか検討したい。 |
| **第2章第4節**<br>満3歳以上の園児の教育及び保育 | サークルタイムが定着し、子ども達が伸び伸びと自分の思いを伝えることができるようになってきている事を実感している。様々な表現活動では、子どもが自分なりの表現を楽しめるように環境設定したり、素材などに出会えるように心がけたりした。年中組が空き教室を利用して「つくルーム」を開放したことで、十分な素材や時間をかけて製作ができる場が保障できたことが良かった。 |
| **第2章第5節**<br>教育及び保育の実践に関わる配慮事項 | 園児の心身の発達に配慮し、個々のありのままの姿を受け入れ、子どもが安心感を持って積極的に活動していけるように、これからも丁寧な関わりを心掛けていく。長時間園で過ごす子どもも多いため、一人の園児に複数の保育者が携わるケースもあり、職員間での連携が十分出来ていない事もある。遅番・早番にかかる園児についての引き継ぎの方法など、見直し改善するように努めている。これで良いと安心せず、異なるケースが発生した際には柔軟に対応できるような心づもりが職員が持てるように、意識していく。 |
| **第3章**<br>健康及び安全 | 食の安全に関しては、職員間の連携がマニュアル通りに定着してきている事で事故の発生がなかった。事故がないことが当たり前にせず、危機感を継続できるように、節目ごとに注意喚起していきたい。また、安全に関しては、いつ緊急事態が発生しても対応できるように、マニュアル化の整理と事業継続計画は作成済みだた、実際に実行するイメージが持てるようにしておく必要性を感じている。 |
| **第4章**<br>子育ての支援 | 幼保連携型認定こども園は、地域における乳幼児期の教育及び保育の中心的な役割を果たすため、学校評価委委員のメンバーは地域の児童館やデイサービス、青少協会長など、様々な関係諸機関とコネクションは持っている、しかし、今年度日常的なネットワークを形成するところまでには、なっていない。子育てを巡る諸課題の発見を通じて、本園における子育ての支援が、総合的な支援ができるようになるためには、何が足りていないのか、検討したい。 |
| **第5章**<br>職員の資質向上 | 年度初めに、職員間で学びたいことを主体的に決めてグループ毎に学びを深めるプロジェクトを開始したが、それぞれ勤務形態の違いなどで、会議の時間が取りにくく実践の効果が得られにくかった。しかし発達支援や実技研修など講師が中心になって進める研修には参加職員も増え学びの機会となった。発達支援研修は昨年に引き続き、発達支援センターの心理士を講師に招いて継続して研修できたことは質の向上になってきている。 |
| 総合 | 各部署で自己評価を行っている結果、ここ数年毎年平均的な評価でとどまっている。園としての独自性や強みを持っている園ではあるが、実践する職員間ではその強みに対しての適切な評価をする材料が十分に持てていないのか、保育の成果を日々分かち合う時間などが持ちにくく自覚が得られにくいのか、いくつか課題が見えてきている。職員一人ひとりが、園の強みを十分に理解しながら保育実践や子育て支援に取り組め、成果を分かち合える職員組織として形作ることができるように改善していきたい。 |

**データ表**

| 内容 | 項目数 | 平均 |
|---|---|---|
| 「乳児保育」 | 15 | 3.07 |
| 「3歳未満児保育」 | 32 | 3.25 |
| 「3歳以上児保育」 | 52 | 3.88 |
| 「教育保育の配慮事項」 | 16 | 3.75 |
| 「健康・安全」 | 27 | 4.78 |
| 「子育ての支援」 | 16 | 3.88 |
| 「職員の資質向上」 | 9 | 3.89 |
| 計 | 167 | 3.82 |

**データグラフ**

